

連盟ニュース

3 1 5

神奈川 4

2011.4.12



『早春の甲斐駒ヶ岳』(山梨県北杜市・日向山にて) 撮影：鳥越章夫(<http://tory.com/>)

3月11日に起きた未曾有の東日本大震災にあわれて、亡くなられたすべての犠牲者の死を悼み、被災者のみなさんに心からお見舞いを申し上げます。

神奈川県勤労者山岳連盟は復興支援に協力します。



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

目次

《巻頭言》		
丹沢大山の50年後を夢見て	川崎ハイキングクラブ	大用ユキ子 3
《東日本大震災の訴え》		
東日本大震災の被災者、会員の救援に全国の仲間の総結集を訴える！		
	2011年3月14日	日本勤労者山岳連盟 理事会 4
義援金のお願い		6
神奈川県での被災に備えて	神奈川県勤労者山岳連盟	会長 中山建生 5
第32期下期定期理事会開催される		記録 磯部津輝子 7
神奈川における教育の在り方について	2011.2.24	会長 中山建生 8
《核兵器の廃絶に向けて》		
5月平和行進への参加呼び掛け	2011.4.4	中山建生 9
お知らせ 第34回2011丹沢クリーンハイク第4回実行委員会	4/25	9
《報告》		
3 / 6 広沢寺清掃集会 (VOL_12) 報告		10
1 / 16 湯河原梅林公園環境保全活動の報告		10
佐渡島交流ハイキング中止のお知らせ		8
第34回2011丹沢クリーンハイク第3回実行委員会	3/28	川崎柴笛クラブ 吉崎玲子 11
清掃各コースと水質調査コースの一覧表		
2011年2月28日 常任理事会議事録		田村氏 12
2011年3月13日 臨時常任理事会 議事録		中山氏 12
3月事務局長会議議事録		13
震災後の表丹沢の情報 3月20日現在		後藤理事長 17
県内でのボランティア活動 / 神奈川県内一時避難所ボランティア説明会報告		田村氏 18
第32期(下期)理事会 (新役員名簿)		20
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		16
登山時報 4月号紹介 / ナマステメールニュース震災臨時第2号目次紹介		15
県連のスケジュール / 全国会議行事予定		19



丹沢大山の50年後を夢見て

川崎ハイキングクラブ 大用ユキ子

3月11日におきた東日本大震災は、死者、行方不明者も含め2万7千人余を超える大惨事となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。被災された方々にお見舞いを申し上げます。そして一刻も早い復旧と復興をお祈り致します。平穏な日常生活を、一瞬に激変させてしまった地震、津波、原発の恐ろしさを思い知らされました。今、自分が出来る事は、節電と、義援金を送る事で少しでも早く、被災者と被災地が安心して元の生活に戻れるようにと、願っています。

巨大地震は過去にもいくつかありましたが、その中の一つに1923年に起きた関東大震災(M7.9)と翌年の丹沢大震災(M7.2)があります。その地震は丹沢を襲い多数の崩壊地が形成された。その後崩壊地に森林を回復する為の治山事業が、取り組まれ当時の様子を、想像する事が難しいほど回復したと記録にある。その頃の丹沢はうっそうとしたブナの原生林や、生い茂る笹や下草の緑豊かな山であったのだろう。鈴木澄雄氏の「日本の山34年」の写真集を見ると「1980年代になると、丹沢で一番好きだったブナ林の立ち枯れが、目立つようになった」と記述されている。

当時ブナ林の立ち枯れの原因は大気汚染ではないかと言われ、1990年代自然保護委員会も、丹沢主稜線上の20箇所でのNO₂調査を経年的に行い、又、酸性雨や酸性霧の影響も考えられる事から、丹沢の土壌酸性度調査も行いました。最近では1997、98年に、ブナハバチの大量発生が起これ以後は局所的に発生が繰り返されておりブナハバチの食害やオゾンも、ブナの衰退の要因であると丹沢大山自然再生委員会の報告がありました。

丹沢の変化はブナ枯れの他にも、鹿が増えすぎた事で鹿の菜食による、森林の笹や下草、希少植物の減少、登山者の増加ではオーバーユースによるゴミ、トイレ、登山道の崩壊等、その他多くの問題を抱えています。これらの問題解決の為に丹沢の保全、再生の為に各団体が、活動をしています。

労山も毎年5月のクリーンハイク、水質調査、登山道整備、植樹等を行っています。今年のクリーンハイクは第34回を迎えます。又、環境調査活動では「丹沢の水は安心か？」と疑問を持ち、水質調査を始めてから20年になります。こんなに長く続けられたのは、会員一人一人が丹沢を大切に思う気持ちの表れだと思います。丹沢のゴミはよく見ると大山の直下の藪や、不動尻方面下山途中箇所等には、まだまだ沢山あります

今年のクリーンハイクも、皆の参加で綺麗にして行きましょう。

丹沢大山自然再生委員会では 緑豊かで多様な生物達が生息し、地域社会の振興を目的にした丹沢大山の将来像が提示されています。それは概ね50年後の丹沢大山再生を目標としたもので「人も自然もいきいきとした丹沢大山を目指す」と、しています。

鬱蒼としたブナ林の再生

生き物も水土も健全でなりわいも成り立つ森林の再生

多様な生き物が、暮らし山の恵みを受ける里の再生

生き物とおいしい水を育む安心・安全な沢の再生

この目標に向かって、丹沢大山の復元力と人の技術により取り戻せる50年先を夢見ると、嬉しくなります。私達一人一人が協力して夢をかたちにしましょう。

そこまで生きていないし、壊れるままだが自然だという人がいますが、何もなかったら加速度的に丹沢は壊れてしまいます。県民の水源地でもある丹沢が豊かであることはとても大切な事です。

私達は丹沢で四季折々を楽しみながら山を歩き、ある時はボッカ訓練に、沢登りと身近な丹沢から、沢山の恵みと元気を貰っています。

昔のような緑豊かで生物達も沢山いる丹沢を次世代に引き継ぐためにも、丹沢保全再生を目指している仲間達と協働して私達に出来ることから、やって行きましょう

東日本大震災の被災者、会員の救援に全国の仲間の総結集を訴える！

2011年3月14日 日本勤労者山岳連盟 理事会

このたびの未曾有の大震災にあわれて、亡くなられたすべての犠牲者の死を悼み、被災者と被災された仲間のみなさんに心からお見舞いを申し上げます。家族や家を失い、また職場を失った方も多数おられ、悲しみと痛手を克服しての生活再建の道は容易ではありません。わたしたち登山者も、国や行政に任せるだけではなく、被災者が生きる希望を取り戻し自らの生活と地域社会の再建に取り組めるよう、できる限りの支援を行います。

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大といわれるマグニチュード(M)9.0の巨大地震が日本全土を襲った。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」と気象庁が命名したこの巨大地震による津波が、主に太平洋側の広範な日本各地を襲い、特に青森、岩手、宮城、福島、茨城の5県には4~10mの大津波が襲来し、多数の死者、行方不明者を発生させた。壊滅的な打撃を被った市町村、地域も少なくなく、家を失った人々は数知れない。被災した市町村も、混乱で正確な被災状況の把握が困難であるが、死者・行方不明者は時間の経過とともに急増し、関東大震災に次ぐ大規模な犠牲者数になることが想定される。犠牲者は東北地方のみならず、関東地方でも多数の犠牲者が出ている。東北各地では未だ孤立して救援を待っている人々がいる一方、既に避難所に収容された被災者の中にも、家族や親族と別れ別れでその安否を気遣いつつ不便な生活を強いられている人も多い。残された生存者の救出は急がれるが、被災者の生活の再建や「心のケア」などを含めた被災地域の復興は、時間のかかる作業となる。国や行政の手厚い施策は勿論だが、かつてない広域の大震災であることから、国民・市民レベルの復興支援も重要である。われわれ山の団体そして登山者も、この活動に積極的に参加していきたい。

震災の直接の被害とともに、東京電力の

福島第一原子力発電所の被災による爆発や放射能被曝事故の発生は、同様の危険にさらされている同第二発電所とともに、広範囲の周囲住民の大量避難という事態に発展している。これらは地震大国の原子力発電所の危険性を改めて国民に知らしめるものとなった。事故の今後の推移は予断を許さないが、今回の事故が首都圏などでの大規模な「計画停電」(輪番停電)という、広範な市民や企業や交通機関などの活動に重大な支障を与えるものとなっていることは、まさに非常事態である。3月12日の午前3時59分頃、この三陸沖の巨大地震に誘発されたと推測される、最大震度6強の大きな地震が新潟との県境の長野北部で発生し、多数の怪我人と家屋の全・半壊60数ヶ所という事態になった。被害は長野と新潟の両方で、豪雪地帯であることから雪崩で道が封鎖されているところも出ているが、今現在深刻な被害の報道は無いが、もし大きな被害や仲間の被災があれば知らせていただきたい。無論、支援の対象としたい。

今回の巨大地震は、東北地方の漁業、農業そしてこの地域の産業の全てに破壊的なダメージを与えた。このことは、東北という一地方の問題にとどまらず、日本経済全体に与える影響も大きい。その意味では、この大震災への国の対応と国民の支援の有無は、日本社会の浮沈にかかわると言っても大げさではない。市民レベルの「被災者の痛みに寄り添った」支援は、国や行政の施策を草の根で補いまた支えて、血の通った支援にするものであり、破壊された被災地域の再生にも少なくない役割を果たすものとする。おそらく、阪神淡路大震災を上回る、多数の市民ボランティアが今後被災地の復興に参加するものと思われる。この動きが大きな流れとなれば、「無縁社会」「孤族」という、人間のつながりや社会的な連帯を失いつつある日本社会の再生にも、役割を果たすのではないだろうか。

当面、労山全国理事会はこのかつてない大震災の発生に際し、支援のキャンパだけに

とどまらず、労山会員が自ら現地に足を運び、たとえ一日だけでも被災者とともに、その地域の再生と復興の「心を通わせた」支援の活動に参加することを提案したい。以下に、当面の支援活動の提案を行なう。

全国連盟理事会は、理事長を責任者とす
る「日本勤労者山岳連盟東日本大震災対
策本部」を設置する。（略称「全国連盟
震災対策本部」、以下「対策本部」と称す。）
「対策本部」は、奥羽・東北両協議会と
協議しつつ、支援活動の具体化を行なう。

対策本部は、「義援金」募集を全国に提
起する。

現地の復興状況に対応し、全国の労山会
員にボランティアを募集する。これには、
現地の労山会員が協力する。また、派遣
する地方連盟はこれを支援する。

被災者会員やその家族に、被害に応じた
弔慰金、見舞い金等をおくる。

その他、必要な支援があれば随時全国の
仲間に提起したい。

神奈川県での被災に備えて

神奈川県勤労者山岳連盟
会長 中山建生

関東地方で今回のような震災が発生した
場合に会員の安否や安全に関して可能な手
立てを取るよう提案します。すでに兵庫の
震災の後、緊急連絡網や一時退避の場所に
ついて協議をしました。例えば川崎地区、
横浜地区、湘南地区、県央地区と区分けし
て、会単位の情報収集と地域を越えての避
難場所をどうするのかを話し、理事の役割
の一部としました。

今回のような震災を予想するなら、海岸
部や河川の周辺では津波におそわれ、連結
センターの役割は果たせません。現実には
内陸部の高台に位置する理事や会の役員が
住む場所を連絡センターとすることになり
ます。

(1) 具体的な検討をすれば、一定の人数の
退避が可能。例えば私の家の場合に駐車場
が無事であればテント4張り分、家が倒壊
しなければ10人収容可能というようにです。

(2) 横浜市ほか防災無線（アマチュア無線
局）の体制があり、連結方法として活用で
さるでしょう。携帯や家の電話は使えずと

考えたほうが現実的です。これは調べてみ
ます。

(3) 万一来に備えるという点では連盟事務所
他に備品その他を置くことを考えています。

家庭用コンロなどの炊事用具、水、米
などの食料 シート、毛布

テントなどの生活用具 会の場合には
所在地（管理者

アウトパイ、自転車の確保（所持者）

筆記用具ほか

(4) 都市型災害の場合には個人の日頃の備
品として

ヘッドランプ ナイフ ライター 軍手
タオル ビーニル袋など

水や行動食まで用意できればさらに良い
携帯ラジオ

移動には運動靴

歩く場合には主要幹線道路の地図

(例)勤め先から家まで

(5) 会の役員を含めた地区割りの体制を検
討したい。

例えば横浜市緑区、都筑区のセンター、
連結先、担当者、備品管理

被災場所（丹沢大山地区）の情報確認を、
追って提案する



全国は「日本勤労者山岳連盟 東日本大震災対策本部」を設置し、義援金の募集を始めました。神奈川県連としましても、各会のご協力をお願いいたします。

神奈川県連では、いったん神奈川としてまとめた上で全国連盟に渡したいと思います。窓口は田村が務めますので、事務局長会議などの機会にご持参ください。別掲の用紙に会の名前、金額、支援メッセージを記入したうえでご提出いただくよう、お願いいたします。

なおこの義援金は、被災した労山会員への見舞金、および労山が行うボランティア活動の支援に使われますので、その主旨を理解したうえでご協力くださるよう、お願いいたします。

東日本大震災 被災者、会員 救援募金

義援金の送付で金融機関のATMを利用する場合には「地震義援金・ナマステ」と入力できないか、そのための手数料が別途かかります。この用紙を利用して明細や支援メッセージをお送り下さい。

募金する団体・個人名	口座名義（依頼人名） カタカナで記載して下さい	振込日 月日	募 金 額
			円

支援メッセージ

送金先

ゆうちょ銀行 郵便振替口座 00180-0 212568 日本勤労者山岳連盟事務局

ゆうちょ銀行口座からこの口座に振り込む場合ATM振り込みは手数料無料。

その他の銀行ATMからこの口座に振り込む場合

ゆうちょ銀行 支店名「せ」を入力して「一九」を入力 「当座」を選択 口座番号「0212568」を入力 「日本勤労者山岳連盟事務局」の表示を確認。

どなたから振り込みをいただいたのか分かるよう、この用紙で振込人と振込金額などを下記の全国連盟事務所までFAX/メール等でご連絡ください。

日本勤労者山岳連盟 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5 - 24

FAX 03-3235-4324 Eメール jwaf@jwaf.jp

第32期下期定期理事会開催される。

2011年4月4日(月) 19:30~21:40
神奈川県民センター

3月の臨時総会は定期理事会と総会の2回に分けて開催

東北地方を襲った震災のため、当初3月に実施予定だった臨時総会の開催ができず、延期となる。そのため32期上期の活動のまとめと決算報告、会計監査についての承認、後期の活動方針と予算案を決定するため、今回定期理事会を開催した。また、9月11日(日)には総会を開き、規約の改正、改廃を討議、決定する。

理事22名中15名の参加で理事会は成立した。事務局池上さんの開会宣言で、議長団が選出され、第1号議案2010年度活動報告と財政報告、第2号議案2011年度活動計画と財政計画、第3号議案理事役員選挙(補充)の討議に入った。

1号議案

・事務局・・・臨時総会は9月11日(日)労働プラザで開催される。

・組織・・・こまくさハイキングクラブが高齢化のため残念なことに脱会。山の会おたる!、エムアンドシーの新加盟の朗報も報告された。

・教育部・・・登山リーダー養成学校は23名(初級17名、中級6名)の受講者をもって実施された。

・遭対部・・・今まで、ハイカーのための講習会など意欲的な取り組みをしてきたが、今年度は講習会が1回しか開けず、予算も消化できなかった。教育部との統合の方向である。

・救助隊・・・年6回の運営会を開催し、クリーンハイクの安全支援、訓練を実施した。

・ハイキング委員会・・・ハイキングリーダー学校を開催し、5名が修了。

・自然保護・・・今年度クリーンハイクは5月と9月2回取り組んだ。11月の全国登山者自然保護集会に13名参加し、県や他団体の取組にも積極的に参加。

・財政部 第32期上期決算報告がされた。専門部で予算が消化できずに、次期繰越金となる。

・会計監査 適正に管理されていくことを確認。しかし、財政部の複数体制が確保できず、体調の悪い姥名氏一人に重責を負わせてしまった。県連として責任をもって体制をとってもらいたいとの要請。

・理事22名中16名で成立しており、賛成多数で1号議案を採択。

第2号議案

・事務局・・・体制の立て直しをはかる。

・教育部・・・2011年登山リーダー学校は初級8名(内一般6名)、中級12名で前年の半数。震災の影響か学校での事故、東京労山の沢の事故など労山に対しての外部からのクレームが影響しているのか。また、連盟内にニーズがないのかと考えるが、引き続き募集している。収支が赤字になるのであと3名は受け入れたい。人材の育成に関しては、中級修了者から2名補助講師となり、補助講師から1名が講師となっている。

登山、ハイキングリーダー学校の指導員の技術、指導内容の標準化も課題とする。

・遭対部・・・教育部長後藤氏が教育部長と遭対部長を兼任する。

・救助隊・・・例年通りの活動をこなしていく。秦野市救助隊、全国連盟救助隊交流会など外部との交流も積極的に図る。

・ハイキング委員会・・・2011年度ハイキングリーダー学校受講者6名と昨年未修了者3名の予定。

・自然保護委員会・・・2011年丹沢クリーンハイク(第34回)は例年通り実施する。放射能の影響など状況の悪化によっては、5月実行委員会にて中止の判断もあり得る。

・財政部・・・遭難対策費用等緊急資金積立金に17万を入れて、100万にした。財政部長は副理事長の田村氏に。

・理事22名中16名で成立しており、賛成多数で2号議案を採択。

第3号議案

第32期理事役員選挙で、理事の補充を行った。理事として、佐藤悠子(川崎労山)、三浦昭男、清藤秀子(川崎HC)、西川憲男(横浜HC)、青柳百合子(山ブキの会)、岡崎広士(M&C)、入木田実文(みずなら)、会計監査に村松勝(川崎労山)を選出した。

東日本大震災の救援活動の詳細については、常任委員会で討議して各会に提案する。義捐金については、各会とりまとめ、神奈川県連盟に集約してください。

以上 記録 磯部



神奈川における教育の在り方について

2011.2.24・会長 中山建生

昨日は県連盟の総会準備にあたり常任理事会で各部、委員会の報告をもとに方針の議論をしました。現在、県連盟の教育活動は教育部がアルパインリーダー養成学校を、ハイキング委員会がハイキングリーダー養成に取り組んでいます。しかしながら県全体の教育に関して、神奈川の会員にどのような教育を行なうのか、目標はどこかを全体で討議してもいないため方針を示してはいません。登山者への教育とは会員に対しては登山に関する知識と技術の習得。そして会活動への参加を求め、社会人としての自覚や責任を高めることにあると考えます。目標を持つことで教育の一貫性を維持し、会員は県全体を広く見る力がつくでしょう。その中心になるのは教育部の役割です。リーダー養成もそのひとつです。遭難対策部や救助隊、ハイキング委員会もこの活動に関わるものと考えます。今は全体を見ての活動ではなくそれぞれが善かれとする範囲で行なっています。このことは連盟の理事だけでなく関心を持つ会員の共通した認識となっています。例えばハイキングリーダーの養成を責任を以て行なおうとするなら最短でも3年の期間は必要です。物事を教えるにはさらに体験や実習の機会を提供しなくてはならないでしょう。ところが継続して学習しようとする体制にはなっていません。これは講師の悩みとなっています。実際にできることは形だけで、その後のフォローはしていません。この原因は人材＝講師とスタッフが少ないためです。そして活動を支える財源にもかぎりがありません。そのため現実には適当なところで手を打つしかなく、講師にも生徒にも後味の悪い思いを残すことがあります。

教育活動の強化は安全に登山をするために必要なことです。また会や連盟の働き手を育てようとするのもめです。会から求められるのは会の働き手を育ててほしいとしています。自力で努

力してい会もありますが十分に行なえない悩みを抱えているからです。今回の討議は県連盟の教育を見なおしたいとするものです。私は問題を明確にするために生徒や関係者の意見や要求を聞き取りました。私への意見と要求には厳しさがありません。例えばハイカーにとり安全とはなにか。これまでの遭難事故の教訓はなにか。県連盟は現場との認識にずれはないのかという指摘です。過去の運営のトラブルや事故をひもとくだけで具体的な問題点は見えてきます。しかし、問題の解決はだれも直ぐにはできないと感じています。ひとつの問題には複数の問題がからみ、現実につぶされています。

教育の現場では技術の一貫性や向上を目指すときはその内容が明確にされ、ステップアップの道筋を示す必要があります。教育に関わる仕事は担当者に任せる前に基本的な方針を全会員に示したうえで合意を得る必要があるでしょう。成果と教訓を全体のものとするには会議の在り方や活動の仕方も見なおす必要があります。それを後押しするのは皆さんの意見、要求、批判です。其々に目標の正当性や必要性を確認したら、その実現のために力を尽くすこととなります。

直接教育を担当する人達は自らの考えと体験を持ち寄って現実的な対応を求められるでしょう。昨日の会議でも県の教育をそれぞれにせず全体の方針を立て統一的に行なうことを求めています。

各学校の運営や教育、指導者の養成、活動と財政規模の中身を個別の取り組みではなく統一的に行ないたいとするものでした。いずれも連盟組織の強化と会員の協力、各部、委員会の連携を実現しなければならないでしょう。これは正論です。多くの会員の意志と要求を反映するように改善するか否かは今後開かれる臨時総会の討議にかかってくるでしょう。なにが必要でどこへ向かうのか方針を立てることで、それを実現する手段を選ぶことができます。重要なことは物事を理性的な目で見ることでしょう。

佐渡島交流ハイキング中止のお知らせ

既にご存知の通り、去る3月11日三陸沖で大地震が発生しました。

この東日本・関東大地震による混乱と道路網の寸断は救援物資の滞りと、被災者への救援を一層困難な状況を招く事態となっております。

また大地震に加え東京電力、福島原子力発電所の爆発に伴う放射能の拡散はそれを止める手立てさえ打ち出せないまま危険度を増している現状であります。

以上の事柄を鑑み、参加される方々の無用なリスクを避けるために今年度の佐渡島は、やむなく中止する事と致しました。

既に参加の申し込みをされた皆さまには、これ等の複合危機を未然に回避する手段である事とご理解いただきご了承お願い致します。

ハイキング委員会 増田 徹

5月平和行進への参加呼び掛け

2011.4.4 中山建生

毎年、東京の夢の島から核兵器の廃絶と被爆者の救済、そして登山者が平和を願う国民の一人であることを示す平和行進が始まります。この行進は平和を願う新スポーツ連盟に加盟する団体も参加をしています。平和行進の始まりは長崎、広島、被爆体験から、一度世界のどこであろうとも原水爆の被害者を出してはならないとした原水爆禁止の願いをこめたひとつの大衆運動です。広島長崎の市民に、被爆した人たちに、日本全国の平和を願う人たちとの連携した市民運動ともなっています。昨年のニューヨークの国際会議には日本から被爆体験や世界の平和を訴える人たちが参加をしました。何年か前には藤沢の会員が岩山の旗を担ぎ東京から長崎まで通し行進をしました。登山者が平和の問題に関わったことで知られるのは、第二次大戦にフランスなどの登山者がドイツの侵略に抵抗し、ピッケルを銃に持ちかえて市民の命を守るために戦いました。スペインのフランコと戦った自由軍にも登山者が参加をしました。日本では多くのスポーツは外来文化、敵性文化として排斥され、登山そのものも禁止とされたのです。また、日本では登山団体の役員たちは当時の政府にしたがって、登山で体力があるものを兵士として積極的に東南アジアや中国方面に送り出す役割を果たしました。戦後、生徒を送り出した教師らが真摯な反省をしめし、戦後の民主化と平和教育に立ら上がったのとは大きな違いがありました。現在、全国連盟の西本会長の長年の主張は、この人たちは自らの反省がなく、いまなお戦争や平和の問題に否定的な態度を取っているとしています。

少し私たちの周りで起きている問題を見てください。つい最近では中東や南アメリカの

各国で軍事独裁者や利権を握り一党支配をする大統領への抗議、民主化を求める嵐のような運動が起きました。世界の歴史はゆったりと、時には急激に揺れ動いていきます。常に良い方向とは限りませんが民衆の意識と要求はこの運動の原動力となっています。逆の巻返し、例えば「北朝鮮の軍事的な挑発があるから軍備を拡張すべきである」という主張は米軍の核の傘を求め、平和運動を敵視します。

こう主張する人は核兵器の廃絶には反対となります。私が知るかぎりでは北朝鮮の軍事力は質の点において日本の自衛隊と比較になりません。だから核兵器を所持しておどしの手段とする戦略をとろうとしています。私は北朝鮮が核兵器を持つことには反対です。理由は戦争の抑止にはならずかえって危険をますというものです。最近、 $E=mc^2$ という本を読んでいます。物理のエネルギーの基本的な考えですが、 C とは光速を意味します。この考え方がやがて原爆を生んでいきます。後にアインシュタインはこれに関して倫理的な後悔をします。

勤労者山岳連盟は「平和であってこそ登山の実現ができる」として平和に関する学習や行動の必要性を訴えています。今年も5月7日に東京から川崎に、神奈川県内を行進して5月19日には静岡県へと岩山の旗が引き継がれます。旗は全国連盟の核兵器廃絶、女性委員会の平和行進を訴えるものです。平和行進は東京から長崎の主要ルートに限らず県内の部分行進もあります。神奈川から静岡に引き継がれる湯河原町は核兵器廃絶宣言をなした町です。クライマーには幕岩のある町として知られています。ハイカーはこの周辺が北条時代の史蹟が残る散策コースであることを知っています。ひとつ視点を変えて登山と平和を考える機会にしてほしいと思います。

第34回 2011丹沢クリーンハイク第4回実行委員会

日時 4月25日(月) 19時30分～21時
場所 かながわ県民サポートセンターミテイングルム709
議題 登山道整備、前夜祭、下見報告、雨天時の対応等

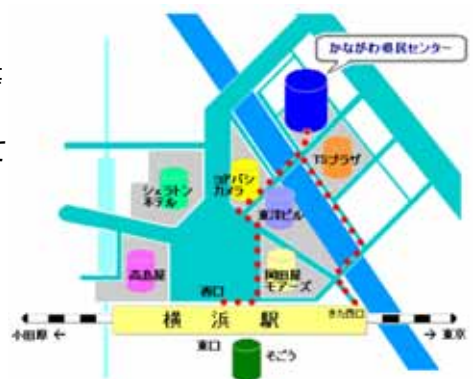
各会の自然保護委員の方、クリーンハイクに参加してみたい方の出席をお待ちします。

クリーンハイク実施日

5月29日 日曜日

水質調査 および 前夜祭

5月28日 土曜日



3 / 6 広沢寺清掃集会 (VOL.12) 報告

A C 相模 (香取 純)

1 2 回目になる広沢寺の清掃集会が行われた。今年の参加者は 1 1 6 名、いつものように前段に主催者 (岩場を守る会)、及び協力者 (県労山、県岳連、七沢里山作りの会等地元の方々) の挨拶。

その後は 4 班に別れて、昼までの清掃並びに環境整備作業が行われた。

1 班は岩場周辺、今回は積もった枯葉を除去し、蛭対策に塩化カルシウムを散布した。

2 班、不動尻林道の清掃、やはり車が通れるからタバコの吸殻等多し、今回は沢の中に埋まったオートバイも撤去。

3 班、鐘ヶ嶽登山口前に整備する公園の樹木片付け。



4 班、日向薬師への林道清掃、これがタイヤ等大量のゴミで積年の課題。

結局、1, 2 班は軽トラ 2 台分、4 班は軽トラ 2 台に 2 t 車 2 台分のゴミを回収した。

終わりの挨拶で、湯河原幕岩のクライミング禁止問題に取り組む西村氏より「広沢寺は、クライマー、行政、地元が一体となって運動されており羨ましい」との言葉をいただき、地元提供の豚汁を美味しくいただき、解散した。

湯河原梅林公園環境保全活動の報告

日程 2011年1月16日 (日)

会場 神奈川県 / 湯河原幕岩

小田原クライマーズクラブ (神奈川県山岳連盟) 主催の湯河原梅林公園環境保全活動も今回で第 3 回を迎えた。

湯河原幕岩は神奈川県山岳連盟に位置する海の近い温暖気候に恵まれ、特に冬場に快適なクライミングができる南関東でも屈指の広さと明るさを誇るフリークライミングとボルダリングのメッカです。

しかし 3 年前に梅林公園正面に位置するてんとうむしロックから不運な落石が起こり危険性を熟慮した地主でもある湯河原町が一部立入禁止を規制したため日本フリークライミング協会、神奈川県山岳連盟、そして神奈川県勤労者山岳連盟の連名で規制解除を求める行動を現在も継続的に行ってきております。

その一環として岩場の浮石チェックや周辺遊歩道の清掃活動を起こし、今回で第 3 回目を数えます。快晴のもと湯河原幕岩を愛する有志が今年も 1 5 0 余名で行われました。

J F A、山岳ガイド連盟、山学塾のメンバーがてんとうむしロックの浮石状態を確認。また他参加者は周辺エリアで梅の宴 (梅祭り) に備えた遊歩道の石やゴミ収集を行い今年も盛況に終わることができました。

参加された方々および関係者にこの場を借りて御礼を申し上げます。

今後もクライマーに皆様の声を反映しながら各組織共同へ一日も早い規制解除を目指して邁進して参りますので、利用される皆様はくれぐれも事故のないよう、またマナーや取り決めを遵守していただきますようお願い申し上げます。

< 報告 神奈川県勤労者山岳連盟

理事長 後藤真一 >



第三回 クリーンハイク実行委員会 議事録

日時：2011年3月28日

場所：県民サポートセンター

出席者：渡辺(相模AC)、大用・鈴木・吉岡(川崎HC)、磯部(地平線)、高橋勇三・萩原(藤沢)、三上・高橋美鈴(こぶし)、伊藤(横浜HC)、関根(みずなら)、柴田(やま++)、黒井(雪童)、大日向(AC横浜)、森谷(ナーゲル)、吉崎(柴笛)

各会の希望担当コースを確認(別紙一覽参照)。「藤沢山の会」はAコース確定。会報誌へ載せる都合上。

各会の山行計画書を実行委員会へ提出する。第一回提出期限：5月23日実行委員会。第二回：クリーンハイクの当日、参加人数等を修正済の最終版を、受付へ提出。

J・不動尻コースは、一般参加者は参加不可とする。

一般参加者は雨天時中止。判断は「前日17時横浜地方気象台発表、当日午前中の県西部の予報で降水確率50%以上の場合は中止」とする。

会員は雨天決行。雨天時の参加、不参加を山岳会ごとにあらかじめ決め、次回の実行委員会時に報告する。

震災の影響で状況が悪ければ、開催を中止

する。一文をチラシに記載。実施一週間前までに、実行委員会で慎重に判断し、決定する。一般参加者対応の担当者・・・三上 茂さん 渡辺委員長・高橋勇三さん・大用ユキ子さんが県庁へ出向き、後援依頼済み。後援決定通知書、受け取り済み。

前夜祭、開催決定。担当：高橋勇三さん・柴田勇作さん

F・新大日コースのゴミ集積所は大倉

救助隊への協力要請担当者・・・大用さん

J・不動尻コースのゴミ回収を依頼するのは、伊勢原市か？厚木市か？「ますや」のご主人に問い合わせ。

ヤビツ峠までのバスの運行を要確認。3月28日現在、蓑毛までで折り返し。臨時運行を依頼することも可能。

尾根コースは震災の影響はない模様。沢筋については不明。要確認。

チラシの見本刷り、三上さんより提出あり。

600枚印刷決定。

次回 4月25日(月)19時30分 県民サポートセンター ミーティングルーム709



	水質調査場所	担当会
A	勘七沢(出合いとツメ)	雪童山の会
B	源次郎沢(出合いとツメ)	みずなら山の会
C	一ノ沢(出合いとツメ)・見晴茶屋の水場	地平線の会
D	水無本谷沢	AC横浜
E	水場(後沢乗越・塔ノ岳・大倉高原山の家)	横浜HC
F	名水(竜神の泉・ゴマ屋敷の水・葛葉の泉・春岳沢の水場)	藤沢山の会

	コース	清掃場所	担当会
A	大倉高原	大倉～大倉高原～堀山の家	藤沢山の会
B	大倉尾根(花立)	堀山の家～花立山荘	横浜HC
C	大倉尾根(塔ノ岳)	花立山荘～塔ノ岳	横浜HC
D	丹沢山	塔ノ岳～丹沢山	地平線の会/山ブキ
E	鍋割山	二俣～後沢乗越～鍋割山	小田原ナーゲル
F	新大日	戸沢出合～新大日	みずなら山の会
G	表尾根三ノ塔	二ノ塔～三ノ塔～大倉	横浜こぶしの会
H	岳ノ台	ヤビツ峠～岳ノ台	(緑星)
I	イタツミ尾根	ヤビツ峠～大山	川崎HC
J	不動尻	大山～不動尻～広沢寺温泉	川崎HC
K	大山裏参道	蓑毛～裏参道～大山	柴笛クラブ
L	大山下社	下社～大山	カモの会
M	大山見晴台	下社～見晴台～大山	やま++/川崎HC

2011年2月28日 常任理事会議事録

田村氏報告

- ・組織加盟団体
新加盟 M & C (エムアンドシー)
- ・教育部報告
リーダー学校来季募集をHP、県連ニュースに掲載。
本来の教育部の役割として、ハイキングリーダー学校、遭難対策部、救助隊との連携が必要。
- ・事務局部会報告
臨時総会の準備
新任の理事の所属を決める
ハイキング系の常任理事の人数を増やしたい
財政担当(会計)の後任がいないため、2月以降、支払いなどが滞っている。
- ・救助隊報告
関東ブロックの深雪搬出・交流集会を2月26・27日で実施。神奈川よりは5名が参加
- ・自然保護委員会報告
2月21日にクリーンハイキング実行委員会を実施。13名が参加。
委員長：渡辺さん 副委員長：長井さん
コースの見直しを行った。
水質調査は県連行事ではなく各会の山行として行うことを確認
- ・全国評議会報告(田村)
2月19・20日に実施された。
評議員(定員1名)としては渡辺さんに参加していただいた。他に4名が聴講。
後藤と田村は全国理事として参加したが、本来県連の代表者たる立場の人間が、全国理事も兼務することの矛盾を実感。

- 討議は個人会員制度に関して時間を割くように行われた。いろいろな質問、意見が出されたが、結論としては各地方連盟ができる範囲で取り組むという、まとまりのないものになった。
- ・関東ブロック報告(田村)
全国評議会のあとに、関東ブロック行事の日程等の打ち合わせを行った。
役員交流集会 主管：群馬 日程は3月の総会にて決定後に通知する。9月の1週目で検討。
自然保護集会 主管：埼玉 10月後半で検討
救助隊深雪訓練 主管：栃木 2月25・26日

女性委員会の立ち上げの提案

準備会を1月15日に実施した。
各県連においても財政面(交通費、事務費等)の協力をして欲しい。
各県の実情がバラバラなので、足並みを揃えて進めることが必要。
当面の事務局は全国に置くが、早急に体制作りが必要。

・県連人事の検討

前述の会計の後任に関して検討。
すでに支払いが滞っており、早急に後任を決める必要がある。他に人材がいないなら、この中(常任委員)から決めなくてはならない。
結果として、田村が遭難対策部長の任を降りて会計に就任。遭難対策部長は後藤が兼任に決定。

常任理事会報告と討議事項

2011.1.13 報告者 中山建生

3月13日午前9時30分より14時まで、緊急常任理事会を県連事務所にて開催いたしました。

出席：田村和寿、池上準子、三上茂、海輪利昭、増田徹、大用ユキ子、中山建生、後藤真一(刻連絡あり)、欠席：蛭名正次(震災で所用のため)

当初、同日には県連盟の臨時総会を予定していましたが、東日本(東北関東)大震災の発生により会場の使用ができなくなったため、臨時総会を延期しました。そこで緊急に臨時総会延期にともなう今後の活動、予算の暫定執行、理事の補充、任務の変更などを協議して、臨時総会については今期の9月に開かれ

る理事会を臨時総会として延期、震災にともなう義援金(見舞い金)などについてあわせ協議をしました。

報告・討議事項

- (1) 震災のため、臨時総会を延期、臨時総会は9月11日に延期する。
- (2) 32期下期活動報告、決算報告、会計監査、および今期の方針、予算については4月4日理事会を開催して審議決議することとした。
理事会議案は規約規定の改正改廃をのぞき、先の議案書を採用する。
- (3) 補充理事の選任は理事会にて行なう。
- (4) 東日本大震災に関しては被災した会員の救済援助に見舞い金=義援金の取り組みを

全国連盟の取り組み開始後には連携して全国に集中する。

兵庫、中越地震の活動経験から神奈川での復興支援活動の取り組みを理事会に提案する。

- (5) 32期下期活動が開始していることから、当面6月迄の活動については各部、委員会からの請求をまって暫定執行をする。
- (6) 理事任務の変更については一部決定、新任、退任理事については理事会で報告する
- (7) 理事会の召集などについては事務局がこれを行なう。

意見ないしは討議の概略

(1) 総会(臨時を含む)は各会の活動や運営に関して県連盟との情報交換の場とすることを大切にしたい。したがって討議や質疑のできる時間をとることを望む。

(2) 会場、参加者の事情により短時間で済ませ、各会の報告は不要ではないか。

(3) 総会、定期理事会(中間期)、理事会

とそれぞれの権能が別れるのは問題がある。

(4) 現行規約を便宜的に運用するのは連盟員との基本的な合意事項をないがしろにすることとなり、規約を改めたのちでなければしてはならない。

(5) 文書発言とて、神奈川の教育活動全体を見た方針の定期が必要である。これを受けてアルパイン、ハイキングリーダー養成をとりくみたい。また連盟員に教育、学習の機会、さらには会の役員に情報交換、地方、全国レベルの括動についての知る機会を与えたい。

(6) 前同、事故防止、安全教育の推進について関係する部局の意見を集約したい。

配布資料

(1) 総会のあいさつ

(2) 神奈川の教育活動基本方針をたてる

(3) 雪崩捜索・ブローブ・5月八ヶ岳登山における雪崩注意

3月 事務局長会議 議事録

2011年3月8日(火) 7:20開始

司会：池上事務局次長 (敬称略)

出席者：小池(川崎労山)・神原(川崎HC)・砂原(柴笛)・仙頭(AC横浜)・丸尾(横浜HC)・三上(こぶし)・中河原(藤沢)・蝦名(相模AC)・安江(みずなら)・小緑(雪童)・栗田(やま++)・青柳(山ブキ)・渡辺(メグリ家)

理事等：三上(機関誌)・池上(事務局次長)・田村(副理事長)・西川(事務局部員/記録)

【 】県連からの連絡事項(連盟ニュース3月号参照)

臨時総会の「代議員」の名簿提出をお願いしています。メールで送って戴けると助かります。

新「理事」を推薦して下さい。

臨時総会の「議長団」を推薦して下さい。

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

<やま++>栗田 彰です。16名です。来月一瞬17名になります。23歳の若い方が入ったんですが、仕事と上手くバランスが取れないため退会しそうです。ヒヤリハットはありません。

<藤沢>中河原昭夫です。連盟ニュースの18頁をご覧ください。人数が間違っています。男48名+女51名で99名になります。今年度は30周年の行事をやってきて、最後に記念誌を作成しました。持って来ましたのでご覧ください。50頁有ります。プリンターを買ってカラー

印刷で手作りしました。120部作りました。3/12(土)に新人の歓迎山行を幕山で予定しています。今年は11名の内5名が参加、全体で40名になります。

<山ブキ>青柳百合子です。7名です。

<AC横浜>仙頭大志です。人数は出入りがあり正確な人数がわかりません。取り敢えず38名にしておきます。

<メグリ家>渡辺康三です。8名です。来月1名増える予定です。その他特に有りません。

<横浜HC>丸尾真知子です。54名です。山行は、連盟ニュース記載の通りです。来年度の選挙が行われ新役員が決まりました。年間の山行計画もほぼ出来ました。新年度も1人1回のリーダーをやる事になりました。なお今年度は、70歳以上の会員は、特別の事情が有ればリーダーを断る事が出来る様にしましたが、免除を希望する方は居ませんでした。年間63回の山行計画が出そろいました。総会は4/14(木)です。

<相模AC>蝦名政次です。32名です。山行は、連盟ニュース記載の通りです。1/8~10に実施しました「冬山集中山行」の報告が5~6頁に掲載されていますのでご覧ください。4/10(日)に、相模AC主催のファーストエイド講習会ですが、他の会の方にも参加して戴きたいと思っておりますので、希望される会の方は連絡を下さい。6月に総会が有りますが、夏山の準備は3月からやっていきたいと考えています。昨年は事故が多かったので、もう一度基本的な

事（読図・ファーストエイド等）から、繰り返しトレーニングを実行していきたいと考えて居ます。

<こぶし>三上 茂です。25名です。3/26(土)に総会が有ります。

<川崎柴笛>砂原浩二です。37名です。2/11(金)~13(日)に甲斐駒ヶ岳・黒戸尾根に行ったパーティーで打撲の怪我がありました。当日は雪が多く、刃渡りまで行ったが時間が遅くなってしまい、中止して下山したんですが、アイゼンを引っかけてしまい前に飛び込むかたちになり、木の根に膝を強打してしまいました。瞬間折れたかと思ったそうです。骨折だとそこでピバークになると覚悟したそうですが、少し休んでいたら痛みが引いてきたので、ストックで松葉杖をつくり自力で下山した。

私が、2/27(日)丹沢の表尾根に行った時、ヤビツから岳の台を回って二の塔に行くルートを通ったんですが、菩薩峠の所から二の塔の登山口の所までの間の林道脇のものすごいゴミが捨てられていました。今度クリーンハイクの時、その場所をルートに入れて拾ってもらおうと良いと思います。登山者のゴミではないと思います。パラグライダーの離陸場所なので、それが影響しているのでしょうか。

<みずなら>安江治彦です。40名です。4/10(日)に総会を行います。

<川崎労山>小池秀子です。43名です。事故、ヒヤリハットは有りません。

<川崎HC>神原大知です。100名です。事故は有りません。ヒヤリハットが1件有りました。例会でミニ学習会と言うものをやっています。今月は「個人賠償責任保険」について行いました。「新特別基金」についても再確認をして未加入者に加入を勧めました。また、中山建生氏の「事故発生と県連盟の連絡」について内容を徹底しました。「会員の平均年齢」が62歳と高齢化しています。「呼び掛けウォーキング(仮称)」として、「里山歩き」(10Km/4H 目安)グループを創設したいと思っています。これは会員を対象に毎月定例化したいと考えて居ます。例えば、湯河原の幕山や、奥多摩の河原や、低山を考えています。4月は等々力渓谷に行きます。

「個人賠償責任保険」については、「山に於いての事故」で、<民法709条>「故意過失で他人への損害を与えた時に賠償責任が派生する」事を保険でカバーしないといけない、と言う趣旨のもとに会として勧めています。

しかし、実際に「個人賠償責任保険」について調べていくと、保険でカバーしていくのが難しい事が判りましたので、これからも勉強していかないとダメですね。去年は年間240

0円でしたが、今年は値上がりしたようです。6月切り替えです。また、他の保険(火災・生涯保険)の特約で、500~1000円に入れるんですね。これもクライミング中に落石が起きて、他のグループの人に賠償する事は中々難しいと言う事が判ってきました。

<田村副理事長>神奈川県がやっている「ボランティア保険」ですが、以前は「青少年・・・」と言う団体が主催していましたが、組織の改編で窓口が「社会福祉協議会」になりましたので、保険に入れるか不明です。

<川崎労山>小池秀子です。42名です。現在は、5月の春山(澗沢集中)の計画を立てています。特にヒヤリハットは有りません。

<M&C>今度新しく加盟しましたM&Cの岡崎広士です。以前雪童山の会に所属していました。現在男性3名、女性1名の4名です。3月から活動しています。山登りやクライミングをやっています。

M&C(エムアンドシー)は、マウンテンアリアンドクライミングの略です。登る事と未来につなぐをテーマにあつまりました仲間です。宜しくお願い致します。

<雪童山の会>小緑岳志です。18名です。今話が有りましたが、会長が替わりました。事故、ヒヤリハットは有りません。

【3】全国「評議会」2/19(土)-20(日) 報告 田村

<遭難対策>(2010年度 事故の概要 参照)

1. 過去10年の事故の推移

一昨年「死亡行方不明者」が19名になり、「非常事態宣言」が出されました。昨年は8名に減ったのですが、ここで左の図の「事故者数」を見て戴くと、2003年から若干の増減は有りますが、数が減ってきたところでしたが、昨年の「事故者数」としては増えてしまいました。これから事故が増えない様に注意して戴きたいとおもいます。

2. 年代別・男女別 事故者の概要

これは過去のものから分らないのですが、年齢層が上にシフトされて来たことが判ります。登山者層が50代から60代に移って来た事が判ります。

3. 年代別・男女別 事故の概要(時間別)

時間別の事故ですが、以前は13:00~14:00にピークが有ったのですが、今年の調査では11:00頃にピークが移って居ます。この図だけでは登りか下りかも判りませんが、注意してください。

<個人会員制>

皆様からのご意見を戴きましたが、神奈川県連としては、全国に提案する時間が有りませんでしたので、後藤理事長から「私見」と言

う事で、皆さんの意見を引用させて載いて「登山時報」に掲載させて戴きました。

今回の全国としての話は、他の事はすべて早めに片付けて、＜個人会員制＞の討論を多く取ろうと言う呼び掛けでした。次に田村の感想を述べます。

今回は、総会 組織部会に続いて、3回目の討議でしたが、似たような質問が多くありました。それは、質問に対しての全国の回答が、具体性が無く、実際に導入された時、地方連盟・会員レベルにおいて、何をしたら良いか、仕事量、役割とかが未だに見えてこない事が原因と判断します。

1年間討議をしてきて、明確に反対する地方連盟も有ります。また、県連盟は賛成だが個人としては反対と言う人もいました。賛否両論有りましたが、一番問題なのは、地方連盟によって温度差が有る事で、導入した時に「全国一律」のサービスが「個人会員」に提供されるのか、非常に難しいと個人的に感じました。

評議会としての結論？（話の方向性）としては、「各地方連盟が出来る範囲で取り組んでいけば良い」となりました。私の感じでは、地方連盟に降りて来たとき、「とても出来ない」で終わるのではと感じて居ます。

Q：地方において来たときに、体制が出来ていないとか、拒否した時はどうなりますか。

A：全国が「手伝いをする」事になっています。

【4】その他

＜連盟ニュース担当＞三上

登山リーダー養成学校申込書について：連盟ニュース10頁に載せましたが、申込先が抜けていて申し訳ありませんでした。別途PDFで送りましたのでそれを見てください。

＜自然保護委員会＞三上

クリーンハイクについて：チラシが配布されていると思いますが、各会の取組宜しくお願い致します。また、実行委員会にも沢山の会の方に参加して戴きたいと思います。

＜広沢寺清掃＞田村

3/6(日) 百十数名の方に参加して戴きまして有り難うございました。

4コースに分かれて行われました。岩場 不動尻に行く登山道 NPO公園作り 日向薬師方面林道。の日向薬師方面林道が一番ひどかったとの事です。

＜会計担当＞蝦名

1/31の決算をもちまして、財政を降りる事に成りました蝦名です。なお、2月・4月の連盟費の請求書はいつもの様にお渡ししますので宜しくお願い致します。



登山時報 4月号 目次

西北ネパール辺疆に魅せられて 大西保03
連載 クイズ地図読み迷人

村越真 宮内佐季子 09

野鳥との出会い ウグイス

福井壽彦 小枝琢三 10

シグナル 斜陽の経済大国、日本？

日本社会は崩壊課程？ 斉藤義孝 12

第29期第1回全国評議会

チャレンジ組織改革なくせ遭難事故 芳山

の原点をふまえ、新たに前進を！ 13

新連載 元気に登山を続けるために

第1回 齊藤繁 20

北海道登山研究集会 / 近年の遭難事故の傾向とその対策

松浦孝之 22

山のファーストエイド vol.2 恵秀彦 24

山で気になるカンキョーの話 菊池敏之 26

富士山の山頂で多様な高所研究がすすむ

後藤功一 27

JWAFクリック 28

連載 碧い南の島だより 雨宮節 30

全国連盟の活動 31

専門委員会活動報告 32

編集後記 34

インタビュー ひと 井上大助さん

田上千俊 35

地元会員特選ミニガイド

茨城・仏頂山～高峯/八周俊隆

福岡・カラ迫岳/吉野和記 36

ブックエンド 『北海道の登山史』他

小山健二 他 38

会報えつらん室 小倉迪夫 40

オススメ山道具 カラビナにかけられるナイフ

笹原芳樹 42

ナマステメール震災臨時第2号 目次

1：日本勤労者山岳連盟が災害対策本部を設置

2：岩手・宮城・福島の方山に現地での協議を打診

3：被災地に防寒用品を緊急に送ることを決めた

4：3月19日～21日の連休に対策本部が対応窓口を開設

5：安否情報（被災した地方連盟の役員の方々）

6：東北地方太平洋沖地震に対する方山全国理事会からの訴えと声明（再録）

7：東北地方太平洋沖地震義援金のお願いと送

金方法（再録）

-被災地の復興と山の仲間の救援に共に立ち上がるろう-

3月14日に開かれた臨時全国理事会で「日本勤労者山岳連盟 東日本大震災対策本部」を設置した。

本部長

斉藤義孝・理事長

副本部長

後藤功一・副理事長

事務局長

川嶋高志・事務局長

本部長

全ての全国連盟理事

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計43名(男27 女16) 平均 歳

2/26 谷川岳(2)	2/27 鷹取(5)	3/6 広沢寺(3)
2/26-27 檜洞丸(1+7)	3/4 塔ノ岳～鍋割(1)	
2/26-27 根子岳・四阿山(1+4)	3/6 幕山(2)	

川崎ハイキングクラブ

報告：川上勝夫 計100名(男50 女50) 平均62歳

2/16 戸倉二山/奥多摩(7)	4/3 影信山 例会山行	4/24 外秩父七峰縦走 楽々足試し
2/18-21 上高地(3)	4/8-10 谷川岳 雪トレ 雪洞掘り	5/8 御嶽山・雨引山 例会山行
2/19 金時山・明神ヶ岳/箱根(1)	4/17 鐘ヶ岳 新緑と温泉	5/15 生藤山・陣馬山 風薫る尾根歩
2/20 めぐる区内散策/目黒区(10)	4/17 津久井城山 野天山行	5/22 滝子山 秀麗富岳12景
2/20 浅間尾根/奥多摩(9)	4/17 大山 春の長歩き	5/22 多摩川河川敷 体力測定
2/26 箱根西外輪山/三国山(1)	4/20 笹の岩山 初春の山歩き	5/29 丹沢刈-刈イ 清掃登山
2/27 松田山/丹沢(11)	4/23 府中散策 ウオーキング	
3/6 日の出山/奥多摩(25)	4/23 鷹取山 岩トレ・ロープワーク	
予定	4/24 鹿倉山 初春の山歩き	

川崎柴笛クラブ

報告：砂原浩二 計34名(男22 女12) 平均48歳

3/4 塔ノ岳(3)	(4+1)	3/5-6 北八ヶ岳・天狗岳	3/11 湯河原幕岩(1+1)
3/4 谷川岳・東尾根(4)	3/5 日の出山(1)	(4)	3/11 九鬼山(1)
3/5-6 八ヶ岳・南沢大滝	3/5 塔ノ岳(1)	3/6 湯河原幕岩(1+1)	

アルパインクラブ横浜

報告＝岸 直哉 計38名(男23：女15) 平均 歳

3/1 八ヶ岳・南沢小滝,大滝(1+1)	3/6 八ヶ岳・権現岳(2)	3/28 丹沢・塔の岳(2)
3/5 雨飾山(3)	3/11 谷川岳・西黒尾根(3)	3/29 八ヶ岳・硫黄岳(2)
3/6 根子岳(1)	3/26 箱根(2)	

横浜ハイキングクラブ

報告＝丸尾真知子 計54名(男22：女32) 平均62歳

2/10 例会(40)	高原スキー(8)	2/16-17 雁ガ原摺山(3)	3/6 長瀬アルプス(13)
2/6 高川山(17)	2/19-20 上越/タカマタ	2/22 明神ヶ岳～明星ヶ	3/2-3 鉢盛山(2)
2/12 鍋割山(6)	ギ(県・1)	岳(1)	3/12 以降すべての山行
2/27 新治市民の森・パ	2/3-4 蔵王スキー(7)	2/27 鍋割山(1)	の延期・中止を指示
ランストレ-ニング(25)	2/6 長瀬アルプス(2)	3/10 例会(33)	
2/14-16 越後湯沢・岩原	2/16 幕山～南郷山(1)	3/5 貫が岳(6)	

2. 他会に通知したい事項

3月11日の東北大地震の後、計画停電の影響による鉄道の運休や余震、また福島原発からの放射性物質の漏えいなどが続き、山行の安全が確認できるまで(当面4月前半まで)すべての山行の延期・中止を会員にお願いしました。

4月3日に臨時運営委員会を開き、4月16日以降の活動について討議します。

3. 事務局長会議で取上げて欲しい話題

今後の地震復興のための支援活動について

横浜こぶしの会

報告＝三上茂 計20名(男14人 女6人) 平均 歳

2/27 三浦シーサイド(3)	3/26 総会(13)	4/14 室内例会
2/26-27 霧ヶ峰・車山(2)	4/2 大楠山(4)	4/23 最明寺
3/10 室内例会(12)	4/10 森戸川-双子山 県連HC学	4/26 役員会
3/19 シダンゴ山(中止)	校	

藤沢山の会

報告＝中河原昭夫 計98名(男44：女54) 平均64歳

3/2 運営委員会	3/10 大山北尾根(5)	3/27 鐘ヶ嶽(5)	4/10 北高尾山稜(6)
3/5 白山 高松山(会ハク7)	3/12 幕山(新人歓迎山行	3/30 臨時運営委員会	4/10 積翠寺、兜山(10)
3/5 川苔山(1)	20)	4/1-3 蔵王(1)	4/12 機関誌「稜線」印刷
3/5 北ア・輝山(1他1)	3/12 沼津アルプス(1他3)	4/2 鐘ヶ嶽～日向山(会ハ	4/13 室内例会
3/6 書策新道、源次郎尾	3/15 丹沢山(2)	179)	4/16 武甲山(10)
根(4)	3/23 室内例会(中止)	4/3 達沢山、蜂城山(3)	4/23 森戸川流域(19)
3/8 春岳山(1他1)	3/26 寿岳～本間の頭南	4/6 運営委員会	4/23 大菩薩・花咲山(2)
3/8 機関誌印刷・発行	東尾根(5)	4/8 総会議案書印刷	4/24 藤沢山の会総会
3/9 室内例会(41)	3/27 権現山(4)	4/9 要害山(8)	

相模アルパインクラブ

報告:水村和也

計32名(男24:女8)平均 歳

2/26 幕岩(2)	3/5 城ヶ崎(1)	3/13 六甲山(1)
2/25-26 伊吹山(1)	3/5 城山(2)	3/20-21 三周ヶ岳~夜叉ヶ池山(1)
2/25-27 タカマタギ(7)	3/5-6 八ヶ岳_阿弥陀北稜(1)	4/7 運営委員会
2/27 大山(1)	3/6 広沢寺清掃(11)	4/10 外部講師 ファーストエイド講習
3/4 大山(1)	3/9 大山(2)	4/13 例会 机上学習 三角巾
3/4-5 大山・弥山尾根(1)	3/9 大山(1)	

やま + +

報告:栗田 彰

計16名(男11:女5)平均49.6歳

3/7 例会	3/27 大山(2)	4/10 総会	4/27 例会
3/23 例会	4/2 高尾山(2)	4/13 例会	

山ブキの会

報告:青柳百合子

計7名(男 : 女7) 平均65歳

2/4 弘法山	2/26 大山	3/21 景信山餅搗き...ら	4/17 生藤山
2/6 鍋割山	3/6 幕山	くらくハイク(新婦人)	4/23 大山三峰
2/11 景信山	3/7 例会(机上)	(中止)	
2/20 塔の岳	3/20 秩父 セツブン草、	4/2 高尾山~景信山	
2/21 松田山	福寿草観察(中止)	4/6 花立	

M & C

報告:岡崎

計4名(男3:女1)平均49歳

2/27 谷川岳一の倉沢(2+1)	3/6 錫杖岳(1+他1)
3/6 湯河原幕岩(2+他)	3/27 湯河原幕岩(2+他)

震災後の表丹沢の情報 3月20日現在

表丹沢救助隊の後藤です。

3/20(日)大倉尾根から塔ノ岳、書策新道を踏査してきましたのでご報告いたします。

詳細は

<http://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-103257.html>

大倉尾根、表尾根(塔ノ岳~書策小屋跡地)までは震災の影響は見られませんでした。また木ノ又大日小屋でお会いした登山者の話では牛首から三ノ塔尾根、表尾根において特に影響なしとのことでした。

一般道ではありませんが書策新道は昨年末と比べ相当崩壊が進んでいました。

特に水無川本谷徒渉点の下部の以前から崩壊しているポイントは更に崩壊が激しくなっており私が通過した際も上部から落石が多発していました。

今後整備されることもないと思われるので両入口にある立入禁止テープをこちらの判断で補修させていただきました。

鍋割山(鍋割山荘 草野さんより)

3月12日現在 以下 特に変化問題なし

- ・西山林道
- ・三廻部林道
- ・二俣~後沢乗越~鍋割山

丹沢山~塔ノ岳~大倉(みやま山荘小屋番石田さんより)

3月13日現在

- ・地震後の変化問題なし

ただ秦野市では今週末(3/26・27)も先週末まで同様

秦野駅、渋沢駅バス停および大倉にて丹沢への登山自粛をお願いする予定とのことでした。

自粛解除予定は現在のところ未定だそうですのでこの場を借りてご連絡させていただきます。

またこれに合わせてヤビツ峠までのバスも蓑毛までの折り返し運転となる予定です。

ヤビツ峠から大山や表尾根に入るバスはありませんのでご注意ください。



県内でのボランティア活動

編集部=メーリングリストより転載

田村です。

労山のメーリングリストでボランティア情報を流すのはおかしいと思われる方もおられると思いますが、一部の方は関心を持っていることと、「未曾有の震災に対し労山も総力を挙げて取り組むべき」と西本会長も檄を飛ばしていることから、情報の提供を続けたいと思います。

ご意見のある方は田村 ktam@jade.plala.or.jp までお願いします。

先にご案内した「県内一時避難所ボランティア説明会」に参加してきましたのでレポートを添付します。

より詳細な情報、今後のボランティア募集などは

<http://ksvn.jp/>

に掲載されるとのことですので、こちらもお覧になるようお願いいたします。

神奈川県内一時避難所ボランティア説明会報告

2011年3月25日（金） 11:00～12:00 田村

1. 松沢知事の挨拶より

東北・関東大震災は地震、津波、原子力の複合災害に発展。

災害の範囲も広範囲で、経済活動まで含めると2次、3次被害へと広がる可能性を持っている。

神奈川県からは、警察800名、消防1000名、医療チーム15が現地入り。県職員（福祉、土木など）も120名を派遣。

被災者の受け入れは、県の武道館、横浜市、川崎市で開始。県や市の公営住宅も確保。民間住宅も募集。

神奈川県独自の活動としては、子供たちをホームステイさせてもらえる方を募集したところ1000件の応募あり。

被災地では警察・消防ですら苦労しており、民間ボランティアはまだ入るべきでない。先遣隊の報告を待ってから行くようにしてほしい。

現時点でのボランティアのニーズ

1. 60,000人の受け入れ準備

2. 支援物資の仕分け

（現状では輸送可能量に対して物資が集まりすぎて仕分けができていない。また闇雲に送っても、被災地の受け入れ場所から各避難所に

送るための輸送体制ができていない）

中・長期の活動が必要。

2. 一時避難所の設置運営状況

3月24日時点での避難所開設および準備中は49施設で、300名を受け入れ済み。

その他も含めると600名超になる。

（人数等は日に日に変わるので県のHP

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p160984.html> を参照してくださいのこと）

神奈川県としては武道館に30名を収容済み（200名まで収容可能）。

3. ボランティア活動と注意点

避難所は基本的に被災者による自活。ボランティアの役割は見守ることや炊き出しなどの作業の手伝い。

ボランティアの募集はHPで連絡するので、希望者はHPを見て応募してほしい。

<http://ksvn.jp/>

4. その他

ボランティアは名札を付けること

ボランティアはボランティア活動保険に入ること（被災地に行く人は天災タイプにする）（ボランティア活動保険は社会福祉協議会に行き、申し込む。ただし社会福祉協議会は現金を扱わないので、申し込み後に銀行等でお金を振り込み、また社会福祉協議会に戻って振込票を見せて、手続きが完了する）

情報ボランティアを対象とする講習会を検討中

今回の説明会は人数が予定をオーバーしたため締め切ったが、今後も説明会は行う。

以上



県連のスケジュール

4月		5月		6月	
1	金	1	日	1	水
2	土	2	月	2	木
3	日	3	火	3	金
4	月	4	水	4	土
5	火	5	木	5	日
6	水	6	金	6	月
7	木	7	土	7	火
8	金	8	日	8	水
9	土	9	月	9	木
10	日	10	火	10	金
11	月	11	水	11	土
12	火	12	木	12	日
13	水	13	金	13	月
14	木	14	土	14	火
15	金	15	日	15	水
16	土	16	月	16	木
17	日	17	火	17	金
18	月	18	水	18	土
19	火	19	木	19	日
20	水	20	金	20	月
21	木	21	土	21	火
22	金	22	日	22	水
23	土	23	月	23	木
24	日	24	火	24	金
25	月	25	水	25	土
26	火	26	木	26	日
27	水	27	金	27	月
28	木	28	土	28	火
29	金	29	日	29	水
30	土	30	月	30	木
		31	火		

2011年度の全国的な規模の集会・会議予定

青年学生クライミング教室PART

全国基金担当者会議

青年学生沢登り教室PART

労山創立50周年記念

全国山岳遭難対策協議会

全国ハイキング交流集会

5月 8日 (広沢寺または湯河原)

6月18日～19日 (神奈川・三浦)

6月12日 (西丹沢マスキ嵐沢)

6月20日～7月4日 (予定)

ブータントレッキング(ブータン チョモラリ・リンシ)

7月 (東京・)

9月17～1日 (静岡・伊豆長岡の予定)

第32期(下期)理事会(新役員名簿)

	役職	氏名	フリガナ	会名	常任理事	理事	出席	欠席	携帯 電話	メール	自宅 電話	E-mail	備考(兼任)
1	会長	中山 建生	ナカヤマ タケオ	みずなら山の会								×	
	副会長												-----
2	理事長	後藤 真一	ゴトウ シンイチ	メグリ家・かたの会									教育・遭対・組織
3	副理事長	田村 和寿	タムラ カズヒサ	相模AC									財政
	事務局長												-----
4	事務局次長	池上 準子	イケガミ ジュンコ	横浜HC									-----
5	機関紙	三上 茂	ミカ シゲル	横浜こぶしの会									自然保護
	財政	田村 和寿	-----	-----									-----
6	部員	西川 憲男	ニシカワ ノボ	横浜HC									-----
	組織	後藤 真一	-----	-----									-----
	HP担当	鳥越 章夫	-----	-----									-----
	部長	後藤 真一	-----	-----									-----
7	副部長	三瓶 健	サンペ ケン	山岳旅行童人メグリ家				欠席		×			
8		大澤 正哉	オオサワ マサヤ	川崎柴笛クラブ						×			
9		岡崎 広士	オガキ ヒロシ	EMアンドシー									
10		入木田実文	イキタ マコト	みずなら									
		宮沢 春美	-----	-----									-----
		鳥越 章夫	-----	-----									-----
11	遭対部	部長	後藤 真一	-----									-----
		副部長	丸山 久直	マルヤマ ヒサナオ	藤沢山の会					×			
12		山崎 弘介	ヤマザキ ヒロシ	カモの会				欠席					
13		鳥越 章夫	トリゴシ アキオ	ナゲル・かたの会				欠席		×			HP・教育・救助隊
14		柴田 勇作	シバタ ユウサク	やま++						×			
15	救助隊	隊長	海輪 利昭	カイリン トシアキ	川崎柴笛クラブ								
16		小野 郁生	オノ イチオ	AC横浜				欠席					
17		宮澤春美	ミヤザワ ハルミ	川崎柴笛クラブ									教育
18		佐藤 悠子	サトウ ユウコ	川崎労山				欠席		?	×		
		鳥越 章夫	-----	-----									-----
19	ハイキング	委員長	増田 徹	マスタ トオル	横浜HC			欠席				×	
20		加藤 正敏	カトウ マサトシ	藤沢山の会									
21		小林 悦治	コバヤシ ユウジ	川崎HC						×		×	
22		当山 利雄	トウヤマ トシオ	川崎HC								×	
23		蝦名 政次	エビナ マサジ	相模AC									
24		清藤 秀子	セイドウ ヒデコ	川崎HC									
25		三浦 昭男	ミウラ アキオ	川崎HC						×			
26	自然保護	委員長	大用ユキ子	オオヨウ ユキコ	川崎HC					×			
27		磯部津輝子	イソベ ツキコ	地平線の会						?			
28		高橋 勇三	タカハシ ユウゾウ	藤沢山の会						×			
29		青柳百合子	アヲヤギ ユリコ	山ノ木の会				欠席		×			
		三上 茂	-----	-----									-----
					11	18	22	7					
42	会計監査	芹田 勇	セリタ イサム	川崎労山									
43		村松 勝	ムラマツ マサル	川崎労山				欠席					